

ICボルドーは慣行ボルドー液を使いやすくした製剤です!

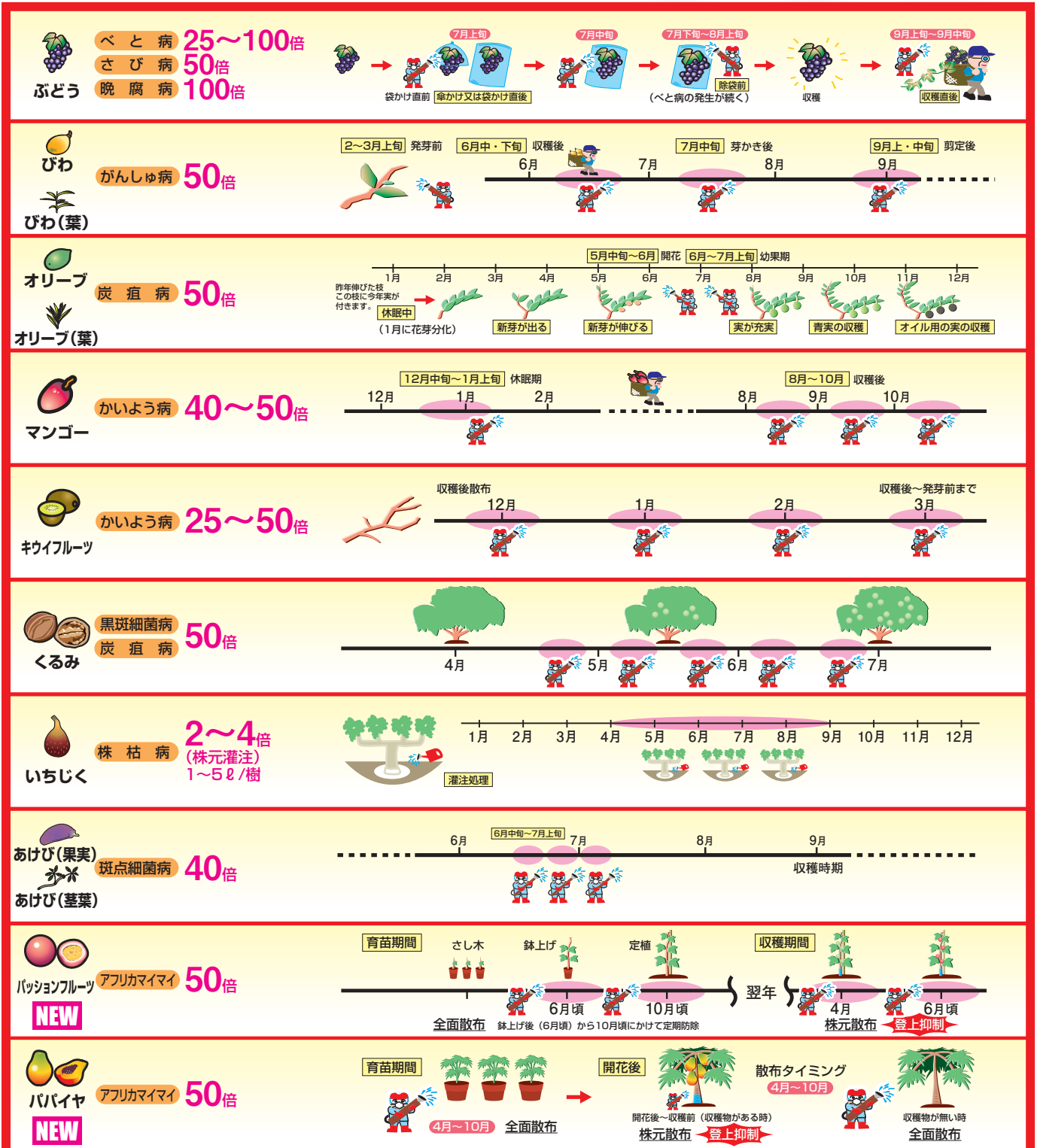
農水省登録
第18645号

ICボルドー

660

- 1.取扱簡単、水で薄めるだけで即OK。
- 2.高品質微粒子設計でムダなく、ムラなく、目詰りなし。
- 3.付着力抜群、薬効の持続性が長い。

散布例 ( 散布適期) ( 株元灌注適期)



地域により又、気象条件等により散布時期は相違しますので、詳細は最寄のJA等関係指導機関にお尋ね下さい。

ICボルトの希釈方法

ICボルトは粘度のある懸濁液ですので、まず箱からフィルム袋を取り出し、繰り返しよくもみほぐしてください。

①保護眼鏡、ゴム手袋、防除衣、ゴム長靴を着用。



②凹凸のない平らな所でICボルト袋の中心部にこぶしを押し込むようにしてよくもみほぐす。



③水を八分目入れたSSにICボルトを入れる。



④固まりがこし網にある場合、残りの水量の水圧で流し込む。



③ポリバケツに倍量の水を入れて、ICボルトを加えてよくかき混ぜる。



④タンクに混合液を入れ、よくかきまぜる。



適用病害虫の範囲及び使用方法 (塩基性硫酸銅28.1%、普通物、B類)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	銅を含む農業の総使用回数
ぶどう	べと病	25~100倍	200~700ℓ/10a	—	—	散布	—
	さび病	50倍					
	晩腐病	100倍					
びわ	がんしゅ病	50倍	—	—	散布	—	
びわ(葉)							
オリーブ	炭疽病	50倍	—	—	散布	—	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	銅を含む農業の総使用回数
マンゴー	かいよう病	40~50倍	200~700ℓ/10a	—	—	散布	—
キウイフルーツ		25~50倍					
くるみ	黒斑細菌病	50倍	—	—	—	散布	—
	炭疽病						
いちじく	株枯病	2~4倍	1~5ℓ/樹	—	—	株元灌注	—
あけび(果実)	斑点細菌病	40倍	200~700ℓ/10a	—	—	散布	—
あけび(茎葉)							
パッションフルーツ	アフリカマイマイ	50倍	—	—	—	散布	—
パパイヤ							

効果、薬害など使用上の注意事項

- 石灰硫黄合剤、有機リン剤、マン油乳剤等を混用すると薬効を減じ、また薬害を起こす原因となるので混用しないこと。
- 散布直後に降雨があると薬害が発生しやすいので注意すること。
- 高温時の散布では、葉及び新梢にホールド液特有の銅による薬害が発生する可能性があるため注意すること。
- 核果類(もも、うめ、あんず)には薬害を生じるおそれがあるので、生育期にはかからないように注意すること。
- ぶどうの無袋栽培で使用する場合、果房に汚れが生じるおそれがあるので果実肥大期以降の散布はさけること。
- おうとうに使用する場合、北光には薬害を生じるおそれがあるので、使用をさけること。また、果実に汚れを生じるので収穫間際の散布はさけること。
- かんきつに使用する場合は次の事項に注意すること。
 - 新梢伸長期には石灰による薬焼けを生じる場合があるので、新梢伸長期にはパラフィン系展着剤を加分すること。
 - 梅雨明け以降の夏季高温時の散布は、薬害(スターメラノーズ)を生じるおそれがあるので使用をさけること。
 - 樹勢の弱い樹や異常低温が予想される場合は、落葉を助長するおそれがあるので使用しないこと。
 - 幹腐病防除に高濃度(2倍)で使用する場合は、枝幹の病斑部に処理をすることし、葉や果実に薬液がかからないように注意すること。
- トマトに使用する場合、果実に汚れが生じるおそれがあるので注意すること。
- びわに使用する場合、幼果期以降収穫までは薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。
- ゆりに使用する場合は、次の事項に注意すること。
 - 切り花用のゆりには汚れを生じるので、注意すること。
 - オリエンタル系のゆりには、薬害を生じることがあるので使用しないこと。
- アスパラガスの茎枯病防除に使用する場合、高濃度(50倍)散布では、茎に汚れを生じるおそれがあるので、収穫終了後の散布とする。
- もものせん孔細菌病防除に使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、開花後から8月末までは使用しないこと。
- レタス及びはくさいに使用する場合、生育期後半の散布及び連用によって薬害を生じる場合があるので注意すること。
- キャベツに使用する場合、結球期以降の散布では汚れを生じる場合があるので注意すること。
- キウイフルーツに使用する場合、発芽後の散布は薬害を生じるおそれがあるので、使用時期を厳守すること。
- いちじくに使用する場合、新根に薬害が発生する恐れがあるので定植1年目までの苗木には使用をさけること。
- ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイには、食害防止を目的として使用すること。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害や作物への汚れの有無を十分確認してから使用すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

近接散布 農薬散布の前後関係による散布間隔を厳守して下さい。

近接散布 ICボルト → 石灰硫黄合剤 **2週間**
 ICボルト ← 石灰硫黄合剤 **10日間**
 ICボルト ↔ マシン油乳剤 **2週間**

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗いし、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- 本剤は皮膚に対して強い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- 使用の際は保護眼鏡、不浸透性手袋、不浸透性防除衣、ゴム長靴などを着用すること。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に關係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

水産動植物への注意

- 水産動植物(魚類、甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 使用残りの薬液が生じないよう調整を行い、使い切ること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

貯蔵上の注意事項

乾燥固結しないように密封して貯蔵すること。また凍結するとその物理的性質が劣化するので凍結には十分注意して保管すること。

●ラベルをよく読む。 ●登録作物以外には使用しない。 ●小児の手の届く所には置かない。

INOUE
CALCIUM CORPORATION

水で溶かすだけで 今日から
すぐ散布できる! 楽々!
安くて簡単 効き目強い!

ICボルト



井上石灰工業株式会社

〒783-0060 高知県南国市蛸が丘2丁目3番地5 TEL.088-855-9965 FAX.088-880-8808
<http://www.inoue-calcium.co.jp>